令和4年度　看護職確保定着・離職防止推進委員会　活動報告

■委員名

委 員 長：太田圭子
副委員長：洪愛子
委　　員：勝部猛彦・重見奈名代・松浦久美子・菰野朱美・勝間収子・足立記代子・下山義裕・須田保之・鈴木克司・大迫しのぶ・小林孝代

■開催回数

6回＋臨時1回

■活動目標

1．看護職の確保および就業継続支援のための取り組みについて、ナースセンター事業を踏まえ検討する。
2．ハローワークや他機関との連携を強化・推進する。
3．看護職員需要・離職に関する調査結果をもとに課題を整理し、必要な改善策を検討する。

■活動内容

1．ナースセンター事業の活動報告をうけ、看護職確保等に必要な取り組みついて検討した。
　1）eナースセンターの周知活動や登録促進のための検討を行い、退職時に登録するように勧めるよう、引き続き施設代表者へ働きかけることを継続する。
　2）広報活動などナースセンターでの取り組みを支援する
　　（1）現場からの意見を踏まえ、今後もナースセンターからのお知らせやeナースセンターへの登録などを推進するお知らせを機会あるごとに配布して、施設責任者の知識をもっていただくことを継続する。

2．ハローワークや地域の関係団体・関係機関との連携を強化する。
　1）ハローワークと連携し、再就業への支援を強化する
　2）地域の他機関と連携し将来看護職を目指す志望者の増加を促進する
　　（1）県内の看護専門学校・看護系大学の入試一覧表を作成し、なんでも相談の進学相談に活用するとともに、看護職を目指す高校生・進路指導者対象の進学説明会参加者に配布した。県内の全高校等に配布する方がいいとの意見が出ており、検討していく予定。

3．看護職員需要・離職に対する調査結果をもとに課題を整理し改善策を検討する。
　1）アンケート回収率の改善を図る（入力方法の検討など）
　　（1）「令和3年度看護職員需要・離職調査」の回答方法にオンラインを導入した。回答率は、病院に若干の低下はあったものの、他の施設に於いては大幅な上昇となった。

施　設	施設総数	有効回答数	有効回答率（前年比）
病院	346	301	87.0　（−5.5）
介護医療院	22	16	72.7　（＋8.0）
介護老人保険施設	162	93	57.4（＋16.5）
介護老人福祉施設	424	261	61.6（＋19.0）
訪問看護	772	488	63.2（＋17.0）

	２）看護職員需要・離職調査ワーキンググループでまとめた調査結果を、県医務課、労働局、ナースセンター等の担当者と共有し、看護職員の確保定着・離職防止の課題を整理し改善策を検討する（予定） （１）実態調査ワーキングより中間報告を確認 （２）中間報告を踏まえて、委員会メンバーよりワーキングメンバーへ、課題を抽出できるための結果の出し方や課題を踏まえた提言などを伝えた。 （３）施設に於いて参考となるよう、実態調査ワーキングより中間報告および検討を重ねることにより、課題を見出し整理している
■活動の評価	１．日本看護協会ナースセンターの「看護職確保の方針」や、兵庫県における「看護職員の確保対策推進方策」を再確認でき、次年度の地域に必要な看護職確保対策（領域偏在・地域偏在）を検討できている。 ２．今期から、看護職員需要・離職調査を「病院」「訪問看護」「介護保健施設等」にわけたことで、例年より詳細な分析や具体的な課題が見えつつある。比較についても昨年度比較のみでなく経年評価をした方がよいというような課題が見えてきている。 　最終調整の中で、来期の質問紙の変更点等を見出し、効果的な調査として改善している ３．ナースセンター事業の活動状況の情報共有を行い、集計結果を分析し、確保定着および離職防止の対策について話し合っている。
■今後の課題	１．兵庫県の調査によると、2025年には4,000人の看護職員不足が推計されており、看護職への魅力をアピールし養成促進することや働き続けられる環境作りとして多様な働き方への検討など再就職支援等の看護師確保、定着促進活動は、僅々の課題である。今後は好事例から学ぶなどの機会も増やし、各施設が取り組みの検討ができるよう提言していく。